

Good News

西部支所 第24号

西 ～にし～

■小平特別支援学校武蔵分教室「病室から世界陸上へ」(デジタル機器の活用)

東京 2025 世界陸上に合わせて東京都スポーツ推進本部が主催した「世界陸上リアル教室」に本校小学部4年生の児童が参加しました。ロボットの技術により、病室にいながら国立競技場のトラックを走るという貴重な体験をすることができました。

本校武蔵分教室は国立精神・神経医療研究センター内にあり、同病院や多摩北部地域の病院に入院中の児童・生徒のための学校で、院内の教室や病室で授業を行っています。

参加した児童は難病により、長期にわたって入院生活を送っています。呼吸や食事、排せつなど、日常生活の多くについて介助が必要な一方、目や口の動き、外部スイッチを使った指先入力でタブレット端末を操作するなどして、意思疎通を図っています。

今回は分身ロボット「Or i H i me」を「指先入力」で操作する形を採りました。手元の「PPSスイッチ*」を押すことで生じた空気圧を「でき i Pad 2**」に送り、変換された指示を児童のタブレット端末から出力させて遠隔操作する方法です。

当日は他の施設や病院で生活する児童・生徒と一緒に障害物競走をしました。タブレット端末には分身ロボットの視点で国立競技場のトラックが映ります。前進したり方向転換したり、時にはポーズを取ったりするなど、児童は上手に操作しながら完走することができました。また、競技の前後には他校の児童・生徒との交流もありました。

この経験が児童にとって、自分の可能性を感じたり、他者と交流することの良さを味わったりするきっかけになることを願っています。 (主任教諭・外岡 慶太)

*PPSスイッチ…指で押すことにより発生した空気圧を電気信号に変換する装置

**でき i Pad 2…接続した機器の画面をタッチせず、外部スイッチによる操作を可能にするためのインターフェイス



病室から参加している様子



指先入力のスイッチ



分身ロボットの視界



「Or i H i me」

西部所・支所の配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧いただけます。

西部所【[R7 西部所_Good News](#)】【[R6](#)】【[R5](#)】

西部支所【[R7 西部支所_Good News](#)】【[R6](#)】【[R5](#)】

西部所・支所【[R5 特集号](#)】



西部学校経営支援センターでは、精選した7つのカテゴリーで記事を配信し、過去の記事をTeamsで共有しています。たくさんの記事をお待ちしています。

【特別支援教育】【デジタル機器の活用】【学校間交流】【地域連携】

【探究学習・観察別評価等】【募集対策】【安全(交通・防犯・防災)】